

閉山期の富士山 危険周知急務



通行禁止を示す看板が置かれた富士山須走口登山道の入り口。冬季の登山は明確に禁止すべきとの意見もある＝11月中旬、須走口5合目

年	山岳遭難事故(件)	死者・行方不明者(人)
2013	19	4
14	12	6
15	9	1
16	12	3
17	11	3
18	10	3
※19	7	1

※19年は10月末まで

よっては身を守ることができな
山技術があっても「気象条件に
御殿場市は適切な装備や登
山小屋経営者でつくる御殿場口
山小屋組合の福那彦組合長(68)
内組の福那彦組合長(68)
山小屋経営者でつくる御殿場口
山小屋組合の福那彦組合長(68)
山小屋経営者でつくる御殿場口
山小屋組合の福那彦組合長(68)
山小屋経営者でつくる御殿場口
山小屋組合の福那彦組合長(68)

同気象台によると、1988年
から2010年の12月の山頂
の平均気温は氷点下15・1度。
その上、小屋は閉鎖され避難
できる場所はない。御殿場口
山小屋経営者でつくる御殿場口
山小屋組合の福那彦組合長(68)
山小屋経営者でつくる御殿場口
山小屋組合の福那彦組合長(68)
山小屋経営者でつくる御殿場口
山小屋組合の福那彦組合長(68)

閉山期、特に冬季は事故のリス
クが高い。その理由は主に強
風、凍結、寒さだ。静岡地方気
象台によると、富士山測候所が
あった2003年12月の山頂の
最大風速は29メートル、平均でも13
・9メートル。標高が高い場所は木など
風を遮るものがなく、冬の富士
登山経験者の日記には成人男性
が風船のように飛ばされたとの
記述が残る。積もった雪の表面
は凍りやすく、場所によっては
アイスピックの刃が刺さ
らぬ。一度滑れば数メートル落
し、命の危険に直面する。

■高い事故リスク

富士山で夏の閉山期以外の遭難事故が後を絶たない。10月
末には自らの富士登山の様子をインターネットでライブ配
信中に滑落したとみられる都内の40代男性が亡くなった。地元
関係者からは冬季の登山を明確に禁止すべきとの声や、危険
性をより具体的に伝えるべきとの意見が出ている。

遭難絶えず、対応苦慮

具体的対策課題に

い状況になる。冬は絶対に行く
べきではないと語気を強める。
専門家も危険性を指摘してい
るものの、閉山期の富士登山は
明確に禁止されているわけでは
ない。県や環境省などをつくる
「富士山における適正利用推進
協議会」が夏山以外の富士山に
関して定めるルールの登山禁止。県
は県道である登山道は全面通行
止めにしてはいるが、国などが所
有する区域への立ち入りを妨げ
る権限はないと説明する。県警
の担当者は「登山を絶対駄目
とは言う立場にない」と話す。

関係者は「登山が」野放しに
なっている。腰が引けている
と指摘する。同協議会が発行す
るチラシには「登山はあくまで
自己責任」との文言があるが、
事故が発生すれば警察や消防の
救助隊員は出動せざるを得ない。
隊員の身に危険が及ぶとの
懸念もある。

■「国が禁止を」

日本最高峰でありながら閉山
期の2カ月間は初心者を含め多
くの登山客が訪れることから、
冬も安易に登ってしまったり、
冬の見方がある。富士山を案
内するガイドをつくる「やまぐ
ろし」の米山千晴代表(68)は小
山町は「冬の富士山は夏の富
士山とは違う。ヒマラヤ級」と
警鐘を鳴らす。小山秀峰山岳会
の榎林一美会長(79)は同町は
「命の危険がある」とし「伝
えるべき」と言い切る。福島組
合長は冬季の登山に「国が
明確に禁止すべき」と主張。注
意喚起を図る際には事故件数を
伝えるだけでなく「そんな過酷
な状況か、具体的な危険性を周
知する必要がある」と訴える。
(御殿場支局・矢嶋宏行)

2019年12月8日朝刊

①富士山信仰の歴史を調べ、考えるところを述べよ。

②積雪期の登山の準備、対処、心構えなど必要事項を全て挙げよ。

③インターネットでライブ配信を行う心理を考察し、適切な対処案を提言せよ。

年 組 名 前

作問者：NIEアドバイザー 実石 克巳(静岡県立静岡高校 教諭)

(高校/国語)

<参考>①＝民俗学、宗教学、日本史学に関する問題、②＝登山医学、登山スポーツ学に関する問題、③＝心理学、情報学に関する問題